

わざ永々棟 4周年記念スペシャル
梅原尚子サロンコンサート

どこか懐かしい

あのメロデー

音故知新

大正・昭和初期の香りが残る空間に響くのは
幻の名器「エラール・ピアノ」の音色。
どこかで聞いたことのあるような
懐かしい旋律と、曲にまつわる
トークをお楽しみください。



2013

12.14 土 14:00
19:00 ※

12.15 日 11:00
15:00

平野の家 わざ永々棟

TEL 075-462-0014 / FAX 075-462-0114

前売：2,000円 / 当日：2,500円(茶菓付)

※12/14 19:00の回はトワイライトコンサートです。この回のみ
ご希望の方にプラス500円で茶菓をワインに変更いたします。

Erard Piano

音故知新

わざ永々棟4周年記念スペシャル
梅原尚子サロンコンサート

昭和初期に建てられた伝統的木造家屋を改修した「平野の家 わざ永々棟」。2010年12月、梅原尚子さんのピアノコンサートで幕明けしました。そのとき、建物とともに永い眠りから目覚めたのが、幻の名器「エラール・ピアノ」です。

エラールはフランスを代表するピアノメーカーで、かつてはベートーベン、リスト、ショパンなど名だたる作曲家に愛されました。しかし、工房は閉鎖され、今となっては幻のピアノとなっていました。

永々棟では楽器店で眠っていた1922年製のエラール・ピアノを一年がかりで修復・再生しました。その音色は柔らかで丸みがあり、古きよき時代のヨーロッパの空気を私たちに届けてくれます。

幕明け以来、毎年12月に恒例となった梅原尚子さんのエラール・ピアノによるサロンコンサートを今年も開催いたします。

今回のテーマは「音故知新 ～どこか懐かしいあのメロディー～」。クラシックになじみがなくても知っている、聞き覚えのあるメロディーでプログラムを組みました。曲にまつわるエピソードや作曲家の人物像、さらには、ご自身の留学時代の思い出など、楽しいトークも交えたコンサートで、きっと名曲の新しい魅力に出会えるはずです。

大正・昭和初期の時代の雰囲気を感じる「平野の家 わざ永々棟」で、梅原尚子さんの素晴らしいピアノ演奏とトークをお楽しみください。

あ
ど
の
こ
メ
カ
ロ
懐
デ
か
イ
し
ー
い

Program

| | | |
|--------|-------------------------|---|
| モーツァルト | 「きらきら星変奏曲 K.265」 | |
| ベートーベン | 「ピアノソナタ第14番『月光』Op.27-2」 | |
| 平井康三郎 | 「『荒城の月』の主題による変奏曲」 | |
| ショパン | 「幻想曲 Op.49」 | |
| ショパン | 「ノクターン第20番『遺作』」 | |
| ガーシュイン | 「パリのアメリカ人」 | |
| コダーイ | 「マロシュセーク舞曲」 | 他 |

ピアノ・トーク

梅原 尚子 Umehara Naoko

同志社中学校・東京芸術大学付属高校を経て、同大学・大学院博士課程修了。ブリュッセル王立音楽院卒業。1992年ハエン国際コンクール(スペイン)2位、ポルドー国際コンクール(ポルトガル)3位。2004-2008年、愛知県立芸術大学音楽学部講師。現在は後進の指導のほか、親しみやすいクラシック音楽コンサートを各地で行うなどの活動をしている。

2013

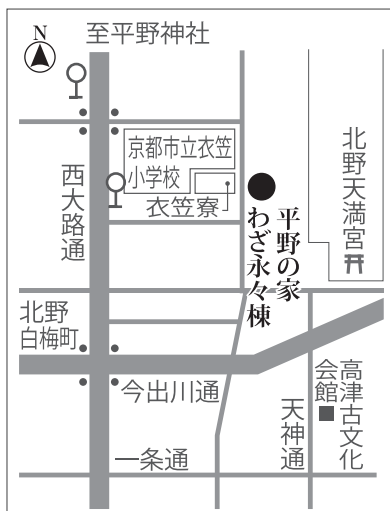
12.14 土 14:00 19:00※ 12.15 日 11:00 15:00

前売:2,000円 / 当日:2,500円(茶菓付) 定員:各回30名

※12/14 19:00の回はトワイライトコンサートです。この回のみ、ご希望の方にプラス500円で茶菓をワインに変更いたします。

〈お申し込み・お問い合わせ〉

TEL 075-462-0014 / FAX 075-462-0114



平野の家 わざ永々棟

〒603-8323 京都市北区北野東紅梅町11